

事業番号	04 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生等推進事業	部局	県民文化部	課・室	文化政策課多文化共生・パスポート室			
		実施期間	不明	E-mail	tabunka@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり							

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 (1) 多文化共生推進 ・「長野県多文化共生推進指針2020（R2.3策定）」の基本目標である「共に学び、共に創る しんしゅう 多文化共生新時代」を創造する。 (2) 一般旅券事務 ・旅券窓口の時間延長、日曜交付窓口の設置等を通して、県民の旅券取得の利便性向上を図る。 【これまでの取組】 (1) 多文化共生推進 ・H2（入管法改正）以降の外国人県民の増加に伴い、主に「生活支援」を中心とする母国語生活相談、防災訓練等の各種施策を実施。 ・H27.3に多文化共生推進の道標として、「長野県多文化共生推進指針」を策定し、多文化共生の社会づくりを促進。 ・R2.3に当該指針を改定し「長野県多文化共生推進指針2020」を策定。 (2) 一般旅券事務 ・H15.5から旅券窓口の時間延長を開始。 ・H17.5から旅券の休日（日曜）交付を開始	
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題 ・県内の多文化共生の推進を図るため、更なる意識づくりが必要。 ・生活やコミュニケーションに必要な日本語を学ぶところが少ない。 ・国籍や文化の違いを認め合い、共に学び共に地域の活力を創造する社会づくりを行っていく必要がある。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組（予定）	<input type="checkbox"/> 多文化共生推進事業 ・団体助成金の交付実績に伴う減額 <input type="checkbox"/> 一般旅券事務費 ・新型コロナウイルス感染症による手数料収入減に伴う財源更正及び実績見込に伴う減額
--------------------	--

指標の状況及び目標値【↑:改善、↓:悪化、→:変化なし】						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	事業 コ ス ト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	多文化共生モデル自治体新規創出数	0か所	2か所	↑ 1か所	↓ 2か所		予算額	10,000	91,529	121,829	131,862
2	日本語交流員養成数	56人	37人	↓ 24人	↓ 40人			補正予算	5,256	2,977	-14,168
3								合計(A)	106,785	124,806	117,694
4								うち一般財源	18,018	83,693	87,950
5								決算額(B)	95,546	109,330	
						職員数(人)	5.0	5.0	5.0		
成果指標 設定理由	① 多文化共生モデル自治体新規創出数：2か所<南信（R2年度創出）以外の県内2地域（各1か所）> ② 日本語交流員養成数：40人<20人×新規モデル自治体2か所（①）>										

事業番号	04 03 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生等推進事業			部局	県民文化部	課・室	文化政策課 多文化共生・パスポート室

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
1	多文化共生推進事業					当初予算	41,003
						補正予算	-4,000
		計	40,508	計	44,324	計	37,003
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地域日本語教室創出支援事業（「先駆的な日本語教室を拠点とした多文化共生モデル自治体の創出」関連事業）	直接	日本語教室を地域における多文化共生の拠点とした地域づくりを推進 ・日本語教室等の取組を支援する総括・地域コーディネーターの配置 ・日本語教室（モデル自治体 3か所）への日本語教師及び日本語交流員の派遣 ・効果的な事業運営を検討する総合調整会議の開催（2回）
2	日本語交流員養成事業（「先駆的な日本語教室を拠点とした多文化共生モデル自治体の創出」関連事業）	直接	県内在住外国人の日本語学習の支援と外国人と地域をつなぐ「日本語交流員」を養成 ・初期研修・スキルアップ研修の開催（モデル自治体 2か所）
3	長野県多文化共生相談センター設置事業	委託	生活者としての外国人への生活情報の提供・相談対応のほか、市町村の相談体制の強化を支援する「長野県多文化共生相談センター」を設置・運営 ・相談対応言語（15言語） ・ホームページでの情報発信（15言語・ChatBot対応） ・市町村相談員の資質向上研修会開催（6回） ・市町村合同出張相談会の開催（10回）

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
2	一般旅券事務費					当初予算	90,859
						補正予算	-10,168
		計	66,277	計	80,482	計	80,691
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	一般旅券事務	直接	法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施。